

一〇九号アンケート①

西区役所 村上佳江

1 今回の特集テーマについて
(一〇九号について)

興味があった。

とても興味がありました。

そして、とてもおもしろかったですし、ためになりました！

2 今回の執筆者について

市民をもっと増やして欲しいかった。

他都市の市民、例えば世田谷まちづくり協に参加している方や掛川まちづくり協に参加している方々の声も聞けたら…と思いました。

3 今回の内容について

読み易く解り易かった

4 調査季報の読み方について
毎号必ず読んでいます
区内事業の企画、調査事業の際の参考として

5 調査季報には、行政研究欄など自分で調査・研究して

る論文を発表する場がありますが、ご存知ですか。
知っている

6 今後調査季報で取り上げて欲しいテーマがありましたらお書き下さい。

・都市における「伝統」

・横浜の風俗、習慣、いいつたえ

「伝統」「流行」という言葉は、横浜を語る修飾語として、よく耳にしますが…ビックバンのような激動が続いている横浜で、「伝統」って何なのでしょう。ことはじめの多い横浜で、風俗・習慣の変遷は、何かの指針を示しているのではないのでしょうか。

7 調査季報に対する希望・意見をお書き下さい。

今度の機構改革では、都市科学研究室も対象になっているかと思われます。となると、『調査季報』は、どうなってしまうのでしょうか。『調査季

報』の隠れファンとしては、とても心配で、夜も眠れませんが、私、わけあって、九州地方の大学に席をおいておりませんが、帰省のたびに『季報』を買い求め、「横浜市というのはなんと懐の深い、幅の広い、前向きなところなのだろう。と感心しておりました。室名が変わっても、題名が変わっても、続刊されることを望みます。

一〇九号アンケート②

総務局 佐々木雅純

1 今回の特集テーマについて
(一〇九号について)

興味があった。

2 今回の執筆者について

他都市の職員をもっと増やして欲しいかった

3 今回の内容について

ふつう

4 調査季報の読み方について

テーマによって読んでいます
調査季報には、行政研究欄など自分で調査・研究している論文を発表する場がありますが、ご存知ですか。

5 調査季報には、行政研究欄など自分で調査・研究して

6 今後調査季報で取り上げて欲しいテーマがありましたらお書き下さい。

・女性の働く環境と行政

・行政と土地(私は、役所こそ地上げ屋になるべしと思う)

・市民ニーズとは何か?

・行政とコスト

・行政と父親

7 調査季報に対する希望・意見をお書き下さい。

今回の特集は、身近なまちづくりとして施設を中心ということでしたが、最近まちづくりに関心をもってもらおうといういろいろな市町村がいろいろな参加型イベントを行って

△あとがき▽

大学教授には、研究活動・教育活動・社会的寄与の三つの機能・性格があるという。教授は大学を通してこれらの活動を社会から期待されている。

象牙の塔と言われた大学は我々の生活にとってあまり身近なものにはなっていないと言えるだろう。社会的寄与が求められ、そして高齢化、高学歴化、各種の分野が専門化されている現代、

います。町の探検隊とか、ガリバー地図とかそういうものの、プラスチック、効果etcを今度とりあげてみて下さい。

「調査季報」は職員が自由に意見を発表し討論する行政研究誌です。「行政研究」への投稿も歓迎します。二〇〇〇字詰五〇枚以内。企画調整室まで(電話六七一一〇二九九)。

この「読者のページ」へもご投稿ください。市政、都市問題、自治体問題等、題材は自由。一〇〇〇字以内。

大学はもっと身近なものになって行くべきであると思う。そこで本号では、大学と都市との関係を取り上げてみた。

平成三年六月の機構改革により都市科学研究室は、企画調整室(調査担当)と変わりました。発行時期が遅れたことにつきまして皆様におわび致します。

△楠原▽